

講義コード	14C0113600	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	青木 重幸	開講期	第1期
科目名	進化生物学とは何か				担当教員		青木 重幸	開講期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	現代進化論の基本的な考え方の理解を目的とする。遺伝子とDNAの関係、遺伝のしくみ、自然選択の働きかた、浮動、種分化がどのようにして生ずるかといった問題を、進化論の歴史と実際の生物での例などを交えながら説明する。								
到達目標	生物個体に選択（淘汰）が働いて集団内で進化が起こるといふ、自然選択のプロセス（変異・遺伝・選択）を理解し、説明することができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	講義で理解できなかった点や、さらに知りたい点について、下に挙げた指定図書や参考書を読んで、あるいはインターネット上での検索などをおして、十分復習すること。 上記に示した授業外の学修は、60時間を目安に行うこと。								
授業計画	【第1回】はじめに 【第2回】適応：ペイリーの時計 【第3回】自然選択のしくみ 【第4回】遺伝のしくみ 【第5回】有性生殖と遺伝 【第6回】有性生殖生物の進化 【第7回】進化の実例 【第8回】進化論の異説：ラマルキズムはなぜ死んだ？ 【第9回】適応進化と中立進化 【第10回】動物の防衛戦略（その1） 【第11回】動物の防衛戦略（その2） 【第12回】擬態：騙しのテクニック 【第13回】「種」とはなんだろうか？ 【第14回】種分化：種はどうやって増えるのか？ 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	試験								
フィードバックの内容									
教科書	『アメリカ版大学生物学の教科書・第4巻・進化生物学』D. サタヴァ他（講談社ブルーバックス）2014								
指定図書	『進化大全』C. ジンマー（光文社）2004、『アメリカ版大学生物学の教科書・第2巻・分子遺伝学』D. サタヴァ他（講談社ブルーバックス）2010								
参考書	『ダーウィン』P. トール（創元社）2001								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								
その他									